

第105回未来医療セミナー

2019年1月30日(水) 18:00-19:00

大阪大学吹田キャンパス

最先端医療イノベーションセンター(CoMIT) 1F マルチメディアホール

「iPS細胞を用いたパーキンソン病治療」

京都大学 iPS細胞研究所 教授 高橋 淳



iPS細胞は自己複製能と多能性をもち、理論上は必要な臓器の細胞を必要なだけ作ることができる。いよいよiPS細胞を用いた再生医療が現実味を帯びてきており、パーキンソン病はその対象疾患のひとつと考えられている。

我々はES/iPS細胞からのドパミン神経細胞誘導から始まり、ドパミン神経前駆細胞のソーティング、霊長類を含めたパーキンソン病モデル動物での安全性有効性確認へと、臨床応用に向けたデータを積み重ねてきた。これらの成果に基づき、2018年8月に治験対象患者のリクルートを開始し、10月に京大病院で第1例目の細胞移植手術を行った。本講演ではこれらの経緯を紹介し、今後の実用化に向けた課題や展望について述べる。

主催：未来医療交流会

共催：橋渡し研究戦略的推進プログラム

大阪大学「戦略的TR推進による自立循環型新規医療創出拠点の実現」

後援：大阪大学医学部附属病院未来医療センター

お問い合わせ

大阪大学医学部附属病院未来医療センター

ctr.osakauniv@dmr.med.osaka-u.ac.jp

<http://www.hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp>

障がいのある方など、特別な配慮が必要な場合は、事前にご連絡ください。